



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル
コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員グループ財務戦略統括部長 (氏名) 赤井 祐貴 TEL 03-3498-1541
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	51,555	△0.8	2,102	△10.3	2,320	△6.3	335	△75.5
2025年3月期第3四半期	51,957	13.0	2,343	22.6	2,477	17.5	1,370	10.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 932百万円 (△29.6%) 2025年3月期第3四半期 1,325百万円 (△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	12.88	—
2025年3月期第3四半期	52.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	38,632	19,825	45.3
2025年3月期	42,130	19,704	41.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,519百万円 2025年3月期 17,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	4.6	4,100	9.6	4,200	5.6	1,400	△35.4	53.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	27,732,622株	2025年3月期	27,732,622株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,617,984株	2025年3月期	1,687,984株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	26,083,401株	2025年3月期3Q	26,125,388株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の関税引き上げに伴う駆け込み需要の一巡から輸出は米国向けが減少するなど弱含みの動きも見られ、鉱工業生産は一進一退の動きとなっています。一方で設備投資は堅調に推移し、雇用・所得環境も緩やかに改善し、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも堅調に推移しました。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT、AIなどを活用したサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」として企業経営を支援する集団となり、中小・小規模企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育）」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス（起業・事業承継）」の5分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

現在は、国の「経済財政運営と改革の基本方針2025 ～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～」に則ってF-Japan戦略を推進し、骨太方針の中でも特に「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に着目し、自治体・民間企業・教育機関・金融機関と連携し、地域経済活性化のためのDX促進に取り組んでいます。

地方自治体の運営を取り巻く環境は大きく変化しており、活力ある地方を取り戻すためには、地域の産業を復興し住民の生活の質を向上させ地域としての魅力を高めていく必要があります。そのためには、デジタルを活用した行政サービスを提供していくことが必須となっており、国もその実現に向けて全面的に支援しています。

当社グループが注力しているF-Japan戦略は日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環が永続的な地方創生を実現するのに不可欠であると考えており、その実現に向けて各地方自治体における「DX・GX人材の育成」「DX・GX人材の就職・起業」「DX・GX人材による地域経済の活性化」の仕組みづくりを、デジタル人材を派遣し、現状や課題を可視化しながら伴走支援しています。

さらには、人材を費用・コストとして捉えるのではなく、その人が持つ能力やスキルを資本として捉え、その価値を最大限に引き出すことで企業価値の向上につなげる「人的資本経営」をはじめとした「ESG経営」が長期的な成長に欠かせない重要な要素となる中で、次世代型のデータ活用により新たな価値を共創する経営情報分析プラットフォーム「きづなPARK」で財務や非財務などの経営情報を可視化しながら中小・小規模企業の「ESG経営」を伴走支援しています。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のようになりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、中小・小規模企業や自治体におけるDX推進の機運の高まりを受けて可視化伴走型経営支援サービスが堅調に推移した一方で、㈱エルコムが新紙幣発行に伴う特需の反動で減少したほか太陽光発電システムが減少した結果、売上高は前年同期に比べ402百万円減少し、51,555百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ819百万円増加（前年同期比4.5%増）した一方で、販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人員増強や情報処理費、地代家賃や旅費交通費の増加の影響で前年同期に比べ1,060百万円増加（前年同期比6.6%増）した結果、営業利益は2,102百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益は2,320百万円（前年同期比6.3%減）となり概ね期初に想定した範囲内で推移しておりますが、投資有価証券評価損794百万円を計上したことで親会社株主に帰属する四半期純利益は335百万円（前年同期比75.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

<フォーバルビジネスグループ>

可視化伴走型経営支援サービスが堅調に推移した一方で、㈱エルコムが新紙幣発行に伴う特需の反動で減少した結果、売上高は27,905百万円（前年同期比1.5%増）、㈱エルコムの減少および企業ドクター活動の強化に伴う人員増等の先行投資増の影響でセグメント利益は1,313百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

小売電気事業における売価低下の影響を受けた結果、売上高は17,227百万円（前年同期比0.1%減）、一方で電力サービスの契約件数の堅調な伸びによりセグメント利益は923百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

太陽光パネルの供給制約の影響等を受けて太陽光発電システムが減少した結果、売上高は3,910百万円（前年同期比21.8%減）、セグメント損失は18百万円（前年同期はセグメント利益132百万円）となりました。

<人的資本経営>

セミナーなどの教育事業や前期中に新たに連結に加わったグループ会社が寄与した結果、売上高は2,511百万円（前年同期比13.2%増）、人的資本関連強化のための先行投資増の影響でセグメント利益は196百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,498百万円減少し38,632百万円となりました。

流動資産は25,698百万円となり、前連結会計年度末比2,867百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が677百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が2,402百万円減少したことによるものです。

固定資産は12,933百万円となり、前連結会計年度末比630百万円の減少となりました。これは主として投資有価証券が362百万円減少するなど投資その他の資産が730百万円減少したことによるものです。

流動負債は15,023百万円となり、前連結会計年度末比3,303百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1,395百万円、未払法人税等が768百万円減少したことによるものです。

固定負債は3,782百万円となり、前連結会計年度末比315百万円の減少となりました。これは主として長期借入金281百万円減少したことによるものです。

純資産は19,825百万円となり、前連結会計年度末比121百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益335百万円に対し、配当金の支払い781百万円等により株主資本が330百万円減少したのに対し、その他有価証券評価差額金が268百万円増加するなどその他の包括利益累計額が306百万円、非支配株主持分が144百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年2月10日）公表の「特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,408,399	10,730,547
受取手形、売掛金及び契約資産	11,387,158	8,984,981
リース投資資産	1,033,286	852,433
商品及び製品	1,082,171	934,327
仕掛品	85,226	122,677
原材料及び貯蔵品	356,918	577,894
未収入金	1,900,515	1,728,337
その他	1,507,614	1,957,869
貸倒引当金	△195,293	△190,502
流動資産合計	28,565,996	25,698,567
固定資産		
有形固定資産	2,608,642	2,672,082
無形固定資産		
のれん	2,618,717	2,673,797
その他	1,487,814	1,469,563
無形固定資産合計	4,106,531	4,143,361
投資その他の資産		
投資有価証券	2,596,057	2,233,151
破産更生債権等	281,747	298,524
繰延税金資産	1,721,395	1,387,385
その他	2,598,270	2,586,059
貸倒引当金	△348,137	△386,698
投資その他の資産合計	6,849,332	6,118,421
固定資産合計	13,564,506	12,933,865
資産合計	42,130,503	38,632,433
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,816,086	6,420,383
短期借入金	1,325,384	1,205,104
未払金	2,836,412	2,573,364
未払法人税等	1,105,410	337,400
賞与引当金	1,055,873	827,934
役員賞与引当金	294,330	193,395
その他	3,893,333	3,466,079
流動負債合計	18,326,829	15,023,662
固定負債		
長期借入金	935,454	654,037
退職給付に係る負債	2,801,704	2,765,598
役員退職慰労引当金	43,628	15,450
繰延税金負債	21,406	9,388
持分法適用に伴う負債	28,265	37,717
その他	268,289	300,638
固定負債合計	4,098,749	3,782,829
負債合計	22,425,579	18,806,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	3,255,844	3,317,338
利益剰余金	11,160,609	10,722,673
自己株式	△1,112,083	△1,065,965
株主資本合計	17,454,664	17,124,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,915	365,232
為替換算調整勘定	32,701	61,876
退職給付に係る調整累計額	△40,620	△31,658
その他の包括利益累計額合計	88,995	395,449
非支配株主持分	2,161,263	2,306,150
純資産合計	19,704,923	19,825,941
負債純資産合計	42,130,503	38,632,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	51,957,681	51,555,436
売上原価	33,543,267	32,321,541
売上総利益	18,414,414	19,233,894
販売費及び一般管理費	16,070,967	17,131,311
営業利益	2,343,446	2,102,583
営業外収益		
受取利息	4,544	10,934
受取配当金	12,593	17,505
持分法による投資利益	79,173	104,605
為替差益	40,756	15,639
その他	64,562	131,393
営業外収益合計	201,631	280,077
営業外費用		
支払利息	43,352	25,537
貸倒引当金繰入額	485	28,050
その他	23,936	8,514
営業外費用合計	67,775	62,102
経常利益	2,477,303	2,320,558
特別利益		
固定資産売却益	110	3,044
投資有価証券売却益	230,910	634
抱合せ株式消滅差益	—	37,698
その他	9,720	—
特別利益合計	240,740	41,377
特別損失		
固定資産除売却損	3,456	4,592
投資有価証券評価損	—	794,392
減損損失	1,820	15,304
貸倒損失	8,880	—
その他	3,095	806
特別損失合計	17,253	815,095
税金等調整前四半期純利益	2,700,791	1,546,839
法人税、住民税及び事業税	836,579	716,347
法人税等調整額	316,120	211,106
法人税等合計	1,152,700	927,453
四半期純利益	1,548,090	619,386
非支配株主に帰属する四半期純利益	177,676	283,401
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,370,414	335,984

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,548,090	619,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△218,314	275,403
退職給付に係る調整額	9,074	8,962
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,165	29,174
その他の包括利益合計	△222,406	313,540
四半期包括利益	1,325,684	932,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,148,008	642,438
非支配株主に係る四半期包括利益	177,676	290,487

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバルテ レコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	人的資本経営	計	
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	27,237,294	17,236,660	5,003,570	2,218,723	51,696,248	51,696,248
その他の収益	261,433	—	—	—	261,433	261,433
外部顧客への売上高	27,498,728	17,236,660	5,003,570	2,218,723	51,957,681	51,957,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	188,860	354,495	33,137	150,912	727,405	727,405
計	27,687,588	17,591,155	5,036,707	2,369,635	52,685,087	52,685,087
セグメント利益	1,488,778	822,705	132,573	198,275	2,642,333	2,642,333

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,642,333
セグメント間取引消去	3,184
のれんの償却額	△302,070
四半期連結損益計算書の営業利益	2,343,446

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「人的資本経営」セグメントにおいて、(株)タニタヘルスリンク及びエフピースステージ(株)の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては518,205千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバルテ レコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	人的資本経営	計	
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	27,721,244	17,227,852	3,910,559	2,511,709	51,371,365	51,371,365
その他の収益	184,070	—	—	—	184,070	184,070
外部顧客への売上高	27,905,315	17,227,852	3,910,559	2,511,709	51,555,436	51,555,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	229,717	384,449	15,788	170,364	800,320	800,320
計	28,135,032	17,612,301	3,926,348	2,682,074	52,355,756	52,355,756
セグメント利益	1,313,746	923,066	△18,940	196,996	2,414,869	2,414,869

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,414,869
セグメント間取引消去	4,209
のれんの償却額	△316,495
四半期連結損益計算書の営業利益	2,102,583

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、従来「フォーバルテレコムビジネスグループ」に区分していた子会社の一部について、「フォーバルビジネスグループ」へ報告セグメントの変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フォーバルビジネスグループ」及び「人的資本経営」セグメントにおいて、減損損失をそれぞれ11,242千円、4,062千円計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては15,304千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、(株)テレクトの株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては412,238千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,122,354千円	1,214,405千円
のれんの償却額	346,508千円	361,658千円